



三島町立三島中学校

桐の里だより

令和6年2月号 校長 鶴水 達也

【学校教育目標】

自分の良さを知り
人とのつながりを大切にでき
自分の役割を果たし
計画的に行動できる生徒の育成



ふるさと学習・三島の桐のものづくり

『三島だからこぞできる学び』が、三島にはあります。それは『桐のものづくり』です。今年度も生活工芸館で木工指導員の支援を受けながらものづくりを行いました。世界に誇る三島の桐を豊富に使ってのものづくりは、三島ならではの。「ふるさと学習」として、ふるさとの良さや伝統を学ぶことができた三島っ子でした。



【3年生:小物入れ】



【2年生:デザインパネル・壁かけ】



【1年生:鍋敷き】

被災地・被災者に思いを馳せる

子どもたちから『能登半島地震の被災地・被災者に義援金で貢献できませんか』と、立派な提案がありました。

被災地や被災者に思いを馳せて、考えて行動ができる力。この力は将来につながる資質・能力です。優しさや思いやりがある素敵な三島っ子たちです。

同じく義援金を募っている三島小学校とともに、新聞社などを通して被災地・被災者への支援を行います。



笑顔・笑顔・笑顔のスキー教室

子どもたちの意見『どうすれば良い滑りができるのか考えて行動できた』、『ケガをしないように自分の限界を知ることができた』、『次はもっとこうしようかなと考えながら滑ることができた』

2月2日晴天、金山町で1・2年生のスキー教室を行いました。三島町スキークラブの方々の指導のもと、思いっきりスキーを楽しんでいました。先輩・後輩と一緒に取り組むからこそ、スキーの楽しさや良さを味わえる活動にできた三島っ子たちです。



この2年間、スキー教室も修学旅行も、学校行事の日は天候が回復する傾向にあります。これは、三島っ子たちの心と行動の成果です！

【校長の一言】学校ホームページを定期的に更新中です。現在103,000閲覧(令和4年7月号発行時66,000閲覧)、1年間半で37,000閲覧でした。1日70閲覧以上と全校生徒の5倍も！